

2013-B					
拠出金・基金の名称		OSCEパートナーシップ基金			
種別		イヤーマーク		ノン・イヤーマーク	
【拠出先の国際機関名】 欧州安全保障協力機構 (OSCE)					
【所管官庁担当局課・室名】 外務省欧州局政策課					
【当該任意拠出金の目的・用途等】					
<p>我が国は、平成25年当初予算により「ジェンダーとメディアに関する会議－性差別との戦いと表現の自由の原則の保護」プロジェクトに、補正予算により「アフガニスタン国境管理スタッフカレッジ」プロジェクトに拠出した。前者のプロジェクトは、2014年後半にメディア関係者、ジャーナリスト等が参加する会議を行い、性差別との戦いと表現の自由、ジェンダーの平等に関する理解を深めることを目的としている。後者のプロジェクトは、2014年末にアフガニスタンの国際治安部隊が完全撤退することを受け、アフガニスタン及びその周辺国の治安・国境管理の能力向上を目的としている。</p>					
【最近3年間の我が国支払額及びODA率】					
単位	邦貨 (千円)	外貨1 (千ユーロ)	外貨2 (千)	レート	ODA率 (%)
平成25年度	82,535	771,535	—	1ユーロ = 107円	0
平成24年度	71,922	642,154	—	1ユーロ = 112円	0
平成23年度	809	6,740	—	1ユーロ = 120円	0
【当該任意拠出金等の意義、成果等に関する我が国としての評価】					
<p>「ジェンダーとメディアに関する会議－性差別との戦いと表現の自由の原則の保護」プロジェクトは、女性・平和・安全保障の問題に取り組む我が国にとって、OSCEの広範にわたるネットワークと知見を活かすことにより、効率的かつ効果的にプロジェクトを実施できる。特に本プロジェクトはジャーナリストやメディア関係者を対象としたものであり、社会に与える効果は高い。「アフガニスタン国境管理スタッフカレッジ」プロジェクトは、現在も進行中であるが、OSCEのこれまでの国境管理に関連する経験を活用し、アフガニスタンのみならず周辺国の国境管理当局を含めた形で国境管理能力の向上を図っており、幅広い効果をもたらすプロジェクトである。</p>					